



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和5年10月3日

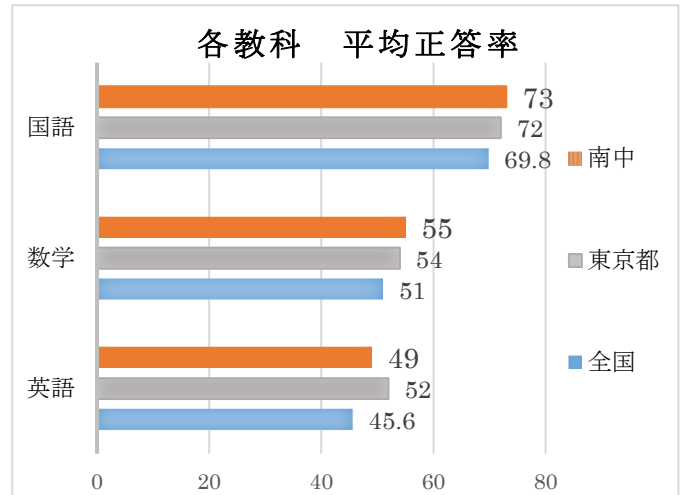
東久留米市立南中学校

校長 若澤 直樹

「全国学力・学習状況調査」結果について

この調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の改善を図るとともに、学校における指導の充実や改善に役立てることを目的として、毎年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施しています。国語と数学は毎年実施、英語は4年振りの実施です。

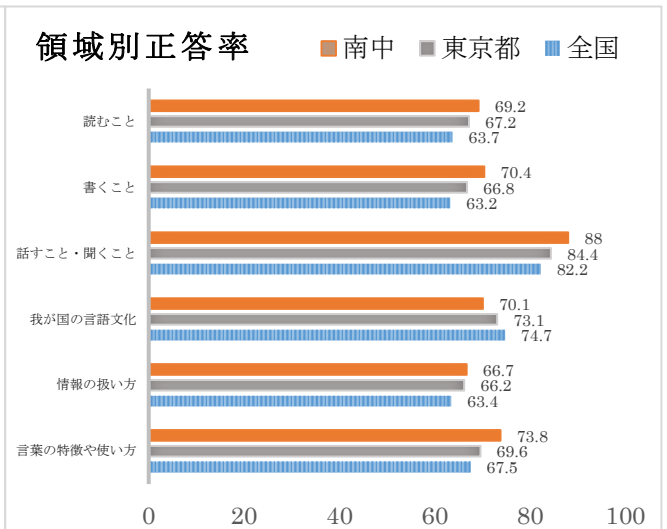
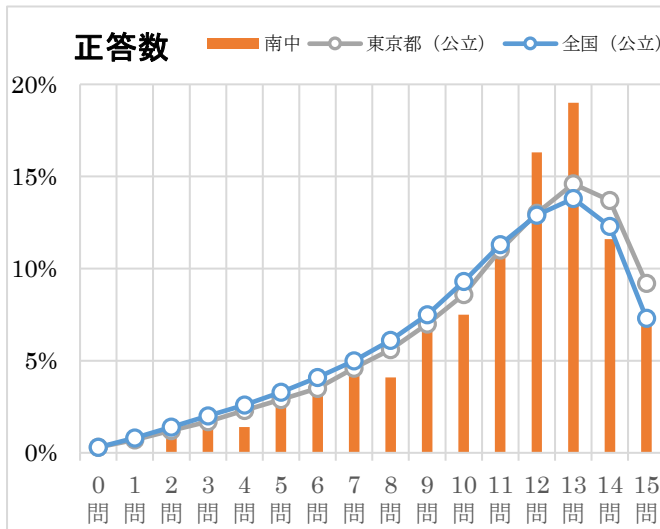
南中の各教科の平均正答率は、東京都の平均より国語、数学とも1ポイント上回り、英語は3ポイント下回っています。全国平均からは全ての教科で3ポイント以上、上回っています。



各教科の正答数分布グラフは、縦軸が生徒数の割合(%)、横軸が正答数、折れ線グラフが東京都平均と全国平均、棒グラフが南中の割合を表しています。

領域別正答率の横棒グラフは、上段が南中、中段が東京都、下段が全国の平均を表しています。

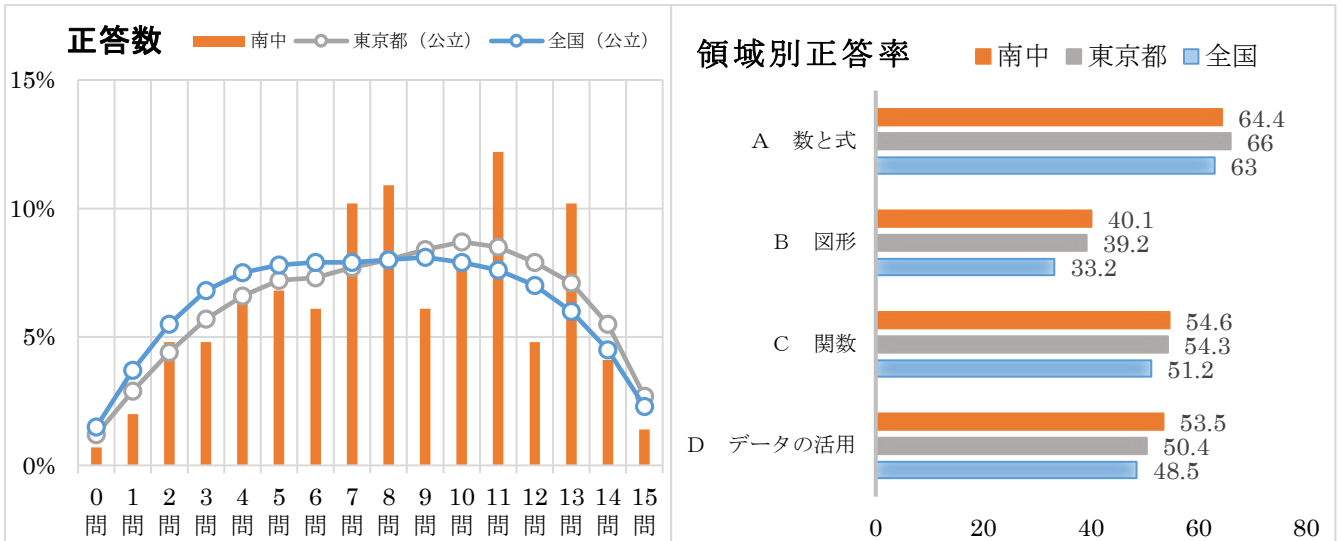
【国語】



正答数分布グラフによると、全体的に正答数の多い層に多く分布しています。どの問題も正答率で概ね東京都や全国の平均を上回っていますが、特に自分の考えを書く問題は、東京都から4ポイント、全国平均からは7ポイント上回っています。また記述式の問題の正答率が高いのも結果として出ていますが、これは毎週1回朝学習で「書く力」として、200字から300字の短作文を書いてきた積み重ねの結果だと思われます。書くことを厭わず文章で表現する力は、他教科にも活かされています。

しかし我が国の言語文化に関する事項で古文の現代仮名遣いがやや弱い傾向が見られました。3年生はこれから古典に入るの、もう一度現代仮名遣いを強化していきます。1, 2年生もこれから古文に入るの、音読を繰り返し行います。

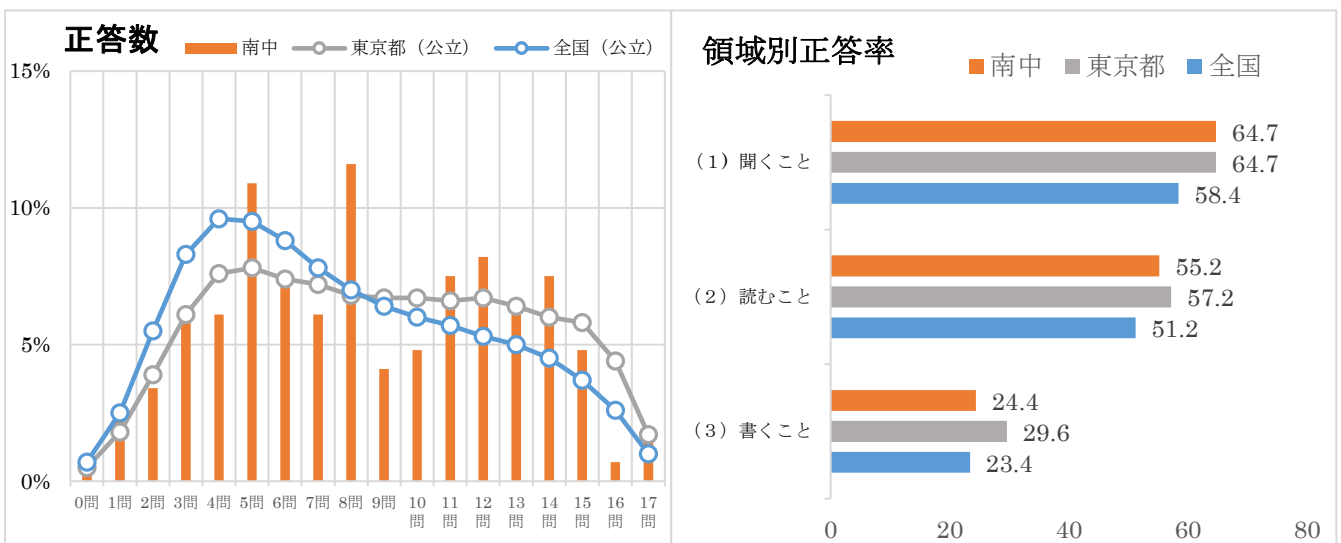
【数学】



正答数分布グラフによると、全体としては中間層から上位層に多く分布しています。ほとんどの領域で東京都の平均を上回っており、「図形」「関数」「データの活用」では平均値を1～3ポイント上回っています。しかし、「数と式」では1.6ポイント下回っており、課題が見られます。

全学年基礎的な計算力の定着を図るために、計算テストを実施した後、合格点に達するまで繰り返し計算に取り組む時間を作っていきます。また、1年生では図形の基礎、2年生では筋道を立てて考えることに時間をかけて取り組んでいきます。3年生では思考・判断を問う問題や関数や図形の複合問題にも取り組んでいきます。

【英語】



正答数分布グラフからは、正答数の多い層と低い層に分かれ、緩やかな二極化傾向が見られることが分かりました。領域別正答率からは、「読むこと」では東京都平均からは2.0ポイント低いですが全国平均と比べると6.3ポイント高く、「書くこと」では東京都平均から5.2ポイント低く、全国平均からは1.0ポイント上回りました。

「書くこと」を重点的に強化していく必要があり、その中でも特に2人称の過去形を使った疑問文や未来表現に課題を感じている生徒が多いことが分かりました。「読むこと」においては、比較的長い文章の概要をつかむことに課題を感じている生徒が多いことが分かりました。

「書くこと」…週に2回程度、授業の初めに帯活動として、「伝えて書いて」という活動を行います。各文法の多くのパターンを学び、書くことができるようにしていきます。

「読むこと」…長い文章を扱う際、より文章構成や枠組みをしっかりと伝え、概要の読み取り方を丁寧に指導していきます。英単語の暗記も必要である生徒も多いため、単語の復習を多く行っていきます。

2年 校外英語学習 (TGG)

2年生は9月19日(火)に、立川の Green Springs にあるTokyo Global Gatewayに行きました。最初は、緊張した様子でエイジェントとの自己紹介や簡単なアクティビティを行っていましたが、講師の先生の優しいサポートに励まされながら様々な活動に取り組みました。次第に笑顔も増え、全てのプログラムが終了した時には、やり切った様子で TGG を後にしました。行きも帰りも班行動でしたが、事故もなく、友達と協力して行くことができ、大成功の校外英語学習になりました。今後は、班で学んだことをポスターにまとめ、発表を行い、学びを共有していきたいと思います。(2年 英語科 藤城麻結)

TGG学習を終えて 藤澤 幸史

私は、普段あまり触れない英語を使ってコミュニケーションを取り、少しでも自信をもつことができたり、海外の人と直接的な交流を深めたりすることを自身の目標として臨みました。

初めて本格的な交流を行い、私は思ったことが2つあります。

1つ目は「英語って難しい」ということです。今まで授業や課題で英語を話したり、書いたりすることは山ほどありました。しかし、いざ通訳もなしに面と向かって話そうとすると、学んだはずの3分の1ほどしか口から出てきませんでした。習ってきた英語が聞くだけでも精いっぱいだったということを感じました。

そして、同時に2つ目「の「英語って楽しい」とも感じました。たとえ殆ど英語を話せなくても、意味が通じた時の「よっしゃ、やったぜ！」という嬉しさと達成感はかなりのものでした。自分の気持ちや意見を目一杯伝え、間違っても恐れずに話し続けることが、英語でコミュニケーションを取るための第一歩だと思います。

TGGでホテルやショッピング等の様々な場面に応じた適語を選び、対応する力を付けるとともに、笑いながらハイテンションで話すことができ、本当に楽しい時間を過ごせました。私は今回のTGGだけで、一生分の英語をしゃべったような気がします！



3年 修学旅行 (奈良・京都)

3年生は、9月14日(木)～16日(土)の2泊3日、奈良・京都の修学旅行を行いました。3日間とも天候に恵まれ、自分たちで立てた計画通りに文化遺産や観光地を巡ることができました。3年間の集大成として、今まで培ってきた学年やクラスの一員としての責任感や協調性を存分に生かし、全ての行程を予定の時間通りに行い、充実した活動を行うことができました。授業や事前学習で学んだ文化遺産等を観る姿、友達と楽しく過ごす姿、公共のマナーを守る姿、安全に気を付けた行動など、3年生の姿に、この3年間の成長をしっかりと見ることができた最高の修学旅行でした。(3年 修学旅行担当 島本教諭)

修学旅行報告 実行委員長 田中 凜乃

私達3学年は9月14日から16日にかけて、奈良・京都へ修学旅行に行きました。今回私たちは「創造～古都の魅力を郷土の進化へ～」をスローガンに掲げました。このスローガンは今回の私たちのゴールである「東久留米市の発展」を目指して考えました。私たちは古都である奈良や京都の魅力を学ぶだけでなく、それらを郷土の東久留米市へ還元する策を、現在、事後学習を通して考えています。1日目は奈良を、2日目3日目は京都を班別で行動しました。2・3日目にはガイドの方やタクシーの運転手の方と京都を回することで、より深く歴史や文化を学ぶことができました。

修学旅行では普段の学校生活の中では見ることのできない友達の一面を発見したり、仲を深めたりすることができました。宿舎や新幹線での時間も魅力の一つだと思います。3日間を通して奈良・京都の歴史や文化を学び、班行動や宿舎で友達と協力したくさんの発見や楽しさを得ることができました。卒業までの残りの時間も今回の修学旅行で得た経験を生かして頑張っていきます。



校外英語学習 (TGG)



修学旅行 (奈良・京都)



第64代 南中学校生徒会役員が選出されました

9月21日(木)に、役員選挙立会演説会・投票を行い、第64代南中学校生徒会役員が決定しました。今年は例年以上に多くの生徒が立候補者し、演説会ではこれからの南中をよりよくするための決意をしっかりと語ることができました。投票の際には、東久留米市選挙管理委員会から投票箱をお借りし、実際の選挙の雰囲気も感じることができました。

新役員の皆さん、今後の活躍に期待しています!



会長	最上 大也 (2-5)	庶務	野倉 未羽 (2-3)	庶務	矢部 拓翔 (1-3)
副会長	南部 晃宏 (2-1)	庶務	片山 太聖 (1-4)	庶務	中村 優月 (1-5)
副会長	池田 友希 (1-1)				

南中生の活躍

- 硬式テニス部 東京都新人テニス大会 都大会出場
伊藤 広都 (2-1) 高橋 蔵乃介 (2-2) ペア
- 美術部 麦の収穫祭(六仙公園) 2年生のグループ作品を出品
- 少林寺拳法 10月7,8日 日本武道館 世界大会 中学生女子の部で出場予定
林崎 莉央 (1-5)

